#### 事前評価個表

整理番号 12

地域(地区)名	<sup>いびがわ</sup> 揖斐川	事 業 名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岐阜県	対象市町村	<sup>おおがき</sup> 大垣市ほか 13 市町
事業実施期間	R6年度~R10年度(5年間)	事業実施主体	県、市町、森林組合等

### 事業の概要・目 的

本地区は、岐阜県の南西部に位置し、大垣市、海津市、垂井町、関ケ原町、養老町、神戸 町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、瑞穂市、本巣市、北方町の4市10町か ら構成されている。

本地区の総面積 184 千 ha のうち、森林面積は 131 千 ha (森林率 71%)、対象民有林は 120 千 ha (森林全体の 92%)、うち人工林は 43 千 ha (人工林率 36%) となっている。民有林の 樹種別面積は、スギ、ヒノキが共に 21 千 ha (18%) と県全体 (スギ:16%、ヒノキ:27%) と比較するとスギの割合が高く、また、天然林の割合が61%と県全体(51%)より高いこと も特徴である。人工林の齢級構成は 10 齢級をピークとした構成となっており、適期の森林 整備が求められている。

本地区の林業は森林技術者の減少等厳しい状況にあり、森林の整備状況は低調で国土保全 や水源涵養等の森林の有する公益的機能の発揮に支障をきたすおそれがある。その一方、近 年県内で整備されている合板工場や大型製材工場、木質バイオマス発電所の稼働により、県 内の木材需要は増大しており、本地区においても豊富な森林資源を活かした安定的な木材供 給への期待が高まっている。

このような状況を踏まえて、本地区では、揖斐川地域森林計画に基づき、より効率的に施 業を実施するための基盤となる路網整備や、高まる木材需要に対応するために意欲と能力の ある林業事業体による集約化された計画的な森林施業を促進しているところである。

本事業では、森林の有する多面的機能の維持増進を図るために、森林計画等に基づく、造 林、保育、間伐等の適切な森林整備及びこれらの効率的な推進に必要な路網整備を実施する。

事業内容・事業 | 森林整備:1,702ha

費

人工造林、下刈、保育間伐、間伐等

路網整備: 9,549m

林道開設

総事業費:5,360,067千円(税抜き4,872,788千円)

#### 費用便益分析結

B/C = 2.33

果

(総便益(B)=13,549,557千円 、総費用(C)=5,810,913千円)

評価結果 必要性: 国土保全や水源涵養等といった森林の有する公益的機能の発揮及び木材の安定供 給が求められており、適期の森林整備が必要であることから、事業の必要性が認め

られる。

効率性: 森林施業の集約化及び路網整備により効果的かつ効率的な森林整備を推進するこ

ととしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。

有効性: 間伐を中心とした森林施業を効率的に推進することで、優良材の安定的な生産に

繋がるとともに、森林の有する公益的機能が高度に発揮されることが期待されるた

め、事業の有効性が認められる。

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業都道府県名:岐阜県

地域(地区)名: 揖斐川 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備考	
	洪水防止便益	2, 965, 453		
水源涵養便益	流域貯水便益	894, 477		
	水質浄化便益	3, 191, 647		
山地保全便益	土砂流出防止便益	2, 398, 271		
環境保全便益	炭素固定便益	629, 201		
	木材生産経費縮減便益	26, 403		
木材生産等便益	木材利用増進便益	40, 071		
	木材生産確保・増進便益	832, 914		
	造林作業経費縮減便益	956		
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	4, 598		
	森林整備促進便益	2, 480, 085		
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	85, 481		
総 便 益 (B)		13, 549, 557		
総 費 用 (C)		5, 810, 913		
費用便益比	$B \div C = \frac{13,549,557}{} = 2.33$			
夏用区並以	5, 810, 913			

# 森林環境保全整備事業 揖斐川地域(岐阜県)

